

大型積分球全光束測定システム

3メートル積分球



● LMS-3M φ3メートル全光束測定用積分球

大型ディスプレイや蛍光灯などの全光束を測定対象としたφ3メートルの大型積分球です。
蛍光灯など細長い棒状のサンプルは、最長2メートルまで測定可能です。
また米国IESNAのLM-79とLM-80に準拠した測定が可能なデザインで設計されています。

● 標準構成

- 直径3メートル積分球
- マルチチャンネル分光器
- 分光放射強度標準ランプ(1個)
- 自己吸収補正ランプ
- 標準ランプ用電源
- 自己吸収補正ランプ用電源
- システムソフトウェア

● 標準ランプセット(オプション)

標準構成には標準ランプが1個含まれていますが、必ず劣化するものなので予め複数の標準ランプを用意する事をお勧めします。

CSFS-050:4.4W標準ランプセット
(3個セット)

CSFS-600:35W標準ランプセット
(3個セット)

CSFS-1400:75W標準ランプセット
(3個セット)

※校正データ付



● 測定項目

- 分光放射強度 (W/nm vs. nm)
- 放射強度 (W)
- 全光束 (lm)
- 相関色温度 (K)
- 色度座標 (x, y) (u, v)
- 色度図
- 演色評価数 (Ra) (R1, R2, ..., R14)
- ドミナント波長 (nm)
- ピーク波長 (nm)
- 中心波長 (nm)
- 重心波長 (nm)
- 半値幅 (nm)
- 色純度



※付属の専用ソフトウェア『MtrX-SPEC』によって、システム校正からデータの保存までコントロールできます。保存されたデータはエクセルファイルへの変換が行えるので、レポート作成も簡単に実行できます。

システム仕様

- 積分球直径 : 3[m]
- 積分球コーティング : スペクトラフレクト (硫酸バリウムコーティング)
- 最大試料サイズ
 - 板状 : 300[mm] × 300[mm]
 - 棒状 : 2,000[mm]
- 測定可能な光束範囲 (A光源) : 64 - 100,000[lm]
- 測定最大ランプ出力 : 10,000[W]
- 測定波長範囲
 - CDS-1100型 : 350 - 850[nm]
 - CDS-2100型 : 350 - 1050[nm]

付属分光器

マルチチャンネル分光器 CDS 2100/CDS 2100型

冷却型CCDセンサー (裏面照射) を使用しているため、高感度・高精度測定が可能です。

[分光器]

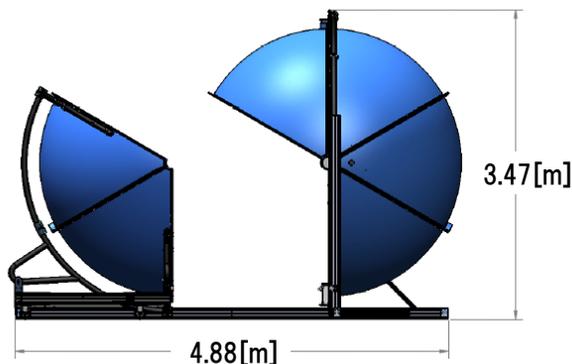
- 波長範囲
 - CDS - 1100型 : 350 - 850[nm]
(感度校正範囲)
 - CDS - 2100型 : 350 - 1050[nm]
(感度校正範囲)
- 焦点距離 : 100[mm]
- 波長分解能 : 1.5[nm]
- 波長精度 : ± 0.4[nm]
- Dark測定 : メカニカルシャッター

[受光素子]

- 裏面照射型CCDアレイ (電子冷却)
- 素子数 : 1044 × 64ch
- 感度波長領域
 - CDS-1100型 : 250 - 850[nm]
 - CDS-2100型 : 350 - 1050[nm]
- 冷却温度 : 10 ± 0.05度
- 温度ドリフト : ± 1度
- AD変換 : 16bit
- デイミックス : 30000:1
- 露光時間 : 10msec - 60sec



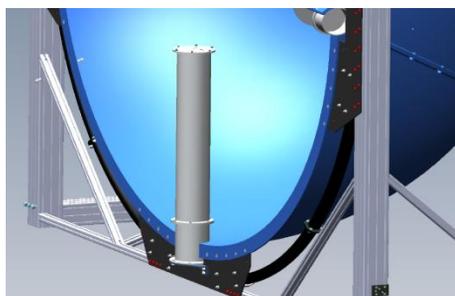
積分球構造



試料ステージ耐荷重
30[kg]まで特注対応

- 重さ : 948[kg]
- 最大高さ : 3.60[m]
- 設置面積 : 3.81 × 5.11 [m]

特注対応



大きなサンプルに向けて、積分球中央に存在する試料ステージの耐荷重を30[kg]に特注対応致します。
また、多様な形状のサンプルに対応するため、特注のサンプルホルダーなどの製作を承ります。
是非ご相談下さい。

